

墓地委員会だより

秋分の日も近くなりましたが、まだまだ暑い日が続いております。
写真は唐崎教会管理野添墓地から、琵琶湖と草津方面を眺めた風景です。空の青、湖の青を見るたびに、この地で永眠できることは、心の慰めと思います。

2022年秋から、墓地管理委員会が新体制で発足し、もうすぐ2年になります。'22年～'23年は話し合いが必要な課題も多く、頻回に委員会を開催しました。(墓地管理委員会は一丸となって頑張りました！(^)！)

昨年より、永代供養の共同墓地の運用も軌道に乗り、生前予約のお申込みの受け付けも開始できました。お陰様で、墓地管理に関する活動もルーチンの内容に落ち着き、委員会開催の頻度も年1～2回で済ませられるようになっております。

墓地管理委員会の定例の活動として、8月に、年1回のお知らせと墓地管理費納入のお願いを関係者の皆様に郵送いたしました。届いておりますでしょうか？

また、今年もお盆前に琵琶湖ダルクの皆様にお願ひして、墓地の草刈りをいたしました。大変綺麗にしていただきましたが、9月半ばにはもう、右の写真のように草が繁ってまいりました。10月に入って涼しくなりましたら、御ミサの後に、墓地清掃の機会を持ちたいと思います。御協力いただけます方は、軍手持参でよろしくお願ひいたします。

11月の死者の月には、今年も皆様と御一緒に墓地に集い、追悼のお祈りをささげたいと思います。

ご家族で墓地をお持ちの方、共同墓地に埋蔵いただいている方のご家族様、そして、共同墓地に関心を持っていてくださる方、徐神父様と一緒に祈りいたしましょう。(神父様はお盆頃にも墓地でお祈りをささげてくださっておりますが、暑さが最も厳しい時期です。熱中症予防のために、日時を指定せず、夏の墓参は各ご家庭で、安全に配慮して行っていただくことにいたしました。)

右の写真は上の2枚と同じ日の共同墓地の風景です。なぜか、シュレーリング神父様のお墓と共同墓地周辺は草が伸びていません。シダ類の地下茎が侵入していないのか、土壌の問題か、いずれにせよ有難い事です。墓地委員会の活動にご協力をお願いいたします。

墓地委員会庶務担当 伊藤 夏代

